

## 平成27年第1回福岡県教育委員会会議（定例会）会議録

### 1 開催日時

平成27年1月9日（金）15時00分から15時52分まで

### 2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

### 3 出席委員

住吉徳彦、奥田竜子、清家渉、久保田誠二、宮本美代子、城戸秀明（教育長）

### 4 欠席委員

なし

### 5 出席事務局職員

教育次長 西牟田龍治、理事 中村潤、総務部長 川添弘人、  
教育企画部長 吉田法稔、教育振興部長 辰田一郎、総務課長 大場茂嘉、  
財務課長 後藤和孝、文化財保護課長 赤司善彦、企画調整課長 木原茂、  
社会教育課長 上田哲子、教職員課長 原田靖、施設課長 原正彦、  
高校教育課長 米原泰裕、義務教育課長 早川昌宏、  
人権・同和教育課長 小川節

### 6 会議

開会に先立ち、住吉委員長から年頭のあいさつがあった。

住吉委員長から、教育を取り巻く環境は激変しており、様々な教育問題が社会的なニュースとして取り上げられている。2015年は戦後70年の節目を迎え、現代社会は、国際化、多様化の時代を迎えており、そのような時代に合った教育を行うことが教育委員会に与えられている大きな仕事であろうと思う。足元を見つめ直し、守るべきものは守り、新しく変えるべきものは変えるということに、果敢な精神をもって取り組む時代を迎えていると思う。学校現場や、児童生徒を大事にしながら、教育を構築していく必要がある。我々、教育委員会も全力を挙げて皆さんと一緒に素晴らしい児童生徒を育てていくことに邁進したい旨のあいさつがあった。

15時00分、住吉委員長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

非公開の発議なく公開と決定された。

## (1) その他

### ・平成26年12月定例県議会における教育委員会答弁要旨

城戸教育長から、12月定例県議会における教育委員会関連の代表質問、一般質問に対する以下の答弁要旨について説明があった。

(代表質問) 福岡県学生会館の入館状況とその対策、公立小学校の40人学級復活問題、フリースクールと学校との連携、教育力向上福岡県民運動の総括作業状況等、男性教職員の育児休業等取得状況及び取得率向上、公立学校2年生以上の35人以下学級の取組状況、小・中学校の統合の進行状況、へき地教育が果たしてきた役割、小中学校における食物アレルギーへの対応、「エピペン」使用への理解促進、小学校におけるスクールカウンセラー等

(一般質問) ユネスコスクールに対する評価、ESDの教育上の効果、コミュニティスクールの状況と取組み、戸畑工業高校におけるデュアルシステムの取組み、「学びの共同体」等に関する調査研究、県立高校教員の育児休業取得状況と職場復帰支援、教職員の残業時間短縮対策及びワーク・ライフ・バランスへの成果、県立中学校で使用する教科書の採択、ふれあいの家の利用状況、道徳の時間の教科化等

次いで、清家委員から、「エピペン」について、是非学校に設置してほしいとの要望があった。全国でアナフィラキシーショックにより毎年100名足らずの人が亡くなっており、そのうち食物アレルギーで亡くなる人は5%程度いる。AEDがあれば学校現場に普及しているので、「エピペン」についても設置してほしい旨の要望があった。

これに対して、城戸教育長から、整備の仕方を含めて検討したい旨の説明があった。

次いで、住吉委員長から、県内のフリースクールの校数について質問があった。

これに対して、早川義務教育課長から、正確な数は把握できていないが、県内では20校程度であるのではないかとの説明があった。

住吉委員長から、意見の有無を問い、本案件についての協議は終了した。

住吉委員長が閉会を宣言し、15時52分閉会した。